



教えてネ 地域のお話

守ろう！

秋田のゼニタナゴ

み

なさん「ゼニタナゴ」をご存じですか？ 絶滅危惧種に指定されているこの魚は、大森山動物園内の塩曳潟で在来種として生息しています。



ゼニタナゴ

5月30日、この潟で、NPO法人秋田水生生物保全協会が、秋田県立大学の学生と新屋高校の生徒と一緒に保全活動を行いました。みんなで手分けして、ゼニタナゴの稚魚を潟から採取す



「見えねえ」。稚魚を探すのは至難の技でした



興味深げに、保護した稚魚を観察中

る作業では、体長1センチ程の稚魚を水中で見つけるのも一苦労でしたが、慎重にひしゃくなどですくった結果28匹を確保することができました。この稚魚たちは、園内の安全な保護池に入れられ、ある程度成長したところで、再び潟へと放流されます。

大森山の恵まれた自然の中で小さな命が育まれています。作業に汗を流した学生・生徒のみなさんも、環境保全の大切さを実感している様子でした。

NPO法人秋田水生生物保全協会は、平成16年から動物園と協働でこの保全活動に取り組んでいます。

これまでの活動に加え、最近、特定外来生物のウシガエルの侵入など、新たな課題も生じていることから、市ではこのたび、同協会が作成した「塩曳潟にすむ多様な生き物の保全活動計画」を、秋田市自然環境保全条例に基づく「自然環境保全市民活動計画」に認定することとしました。

● 問い合わせ

環境総務課 ☎(888)5705

リヒトとアサヒ よろしくパートナー♪

大

森山動物園の話題をもう一つ。ゴールデンウィーク期間中に開催した「どうぶつ園長☆決定戦」において、来園者による投票の結果、見事、ユキヒヨウのリヒト(オス5歳が第1位の栄冠を手に入れました！端正な顔立ちのイケメンぶりが、なかなかの人気です！

このリヒトのパートナーにと、3月に東京の多摩動物公園からやってきたのがアサヒ(メス10歳)。今後、展示場の環境に慣れ次第、一緒にたわむれる姿をご覧いただけるかもしれません。お楽しみに！



リヒトです
大森山で
待ってるぜ！



アサヒです
よろしくネ♪

浸水被害に備えて 排水訓練を実施

本

格的な雨の季節を前に、大雨による浸水を想定した排水訓練が、5月21日に仁井田の古川排水樋門で行われました。

市では、今年新たに災害対策用排水ポンプ車を2台配備。この日が初めての実践訓練ということもあり、地域のみなさんも見守る中、雄物川から古川への逆流を防ぐために古川排水樋門のゲートが閉じられた場合を想定し、ポンプ車による排水作業の手順を委託業者や職員らが確認しました。

災害への備えを万全に。引き続き、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。

● 問い合わせ

道路建設課 ☎(888)5749



ポンプ車がホースでくみ上げた水を、堤防に整備された排水口から流し出します